



ルーテル学院だより

神学校だより

NO.157

NO.84

合併号

2024.12.1

発行 | ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校
〒181-0015 東京都三鷹市大沢 3-10-20
TEL: 0422-31-4611 FAX: 0422-33-6405
| 発行人 | 石居 基夫
http://www.luther.ac.jp/

Feature 特集

ルーテル祭報告

ルーテルを喜ぶ



2024年11月4日（月・休）、ルーテル祭が開催されました。当日は晴天に恵まれ、学生や卒業生をはじめとし、教会や地域の方々など、600名を超える来場者があり大盛況な一日となりました。

チャペルでは、開会礼拝や聖歌隊・ハンドベル・パイプオルガンのコンサートが行われ、特別プログラム「デール記念講演会」では、元立教女学院短期大学学長の若林一美先生をお招きし、「いのちのメッセージ～悲しみを通してみえること～」と題してお話を伺うことができました。学生企画では、音楽LIVE、こども縁日や茶道体験、パラスポーツ体験やクイズラリーなどが行われ、実習や研究の報告も加え、学生の日頃の学びと活動、またこのための準備の成果が、多くの方を笑顔にし、学内に更なる活気を与えてくれました。学生食堂は、卒業生や地域の方々の大行列となり、賑わいを見せました。その他にも、

障がい学生支援企画、同窓生による出店をはじめ、本学と関係の深い業者さんが企画や物品販売を行っていただきました。また、臨床心理相談センターオープンハウスにも、たくさんの方々に御越しいただきました。

地域の皆さま、同窓生や教会の方々など多くの方のご来場、ご協力をいただいたことで本学の教育研究への励ましをいただくことができました。この場をお借りして、深く御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。ルーテル祭実行委員会

参加者の声の特設
サイトに掲載中



Classroom 授業探訪

ターミナルケアと グリーフワーク



喪失に関連する自分の感情を振り返るワークの様子

「ターミナルケアとグリーフワーク」はターミナルケアとグリーフワークに関連する様々なテーマについて理論と実践両方の視点から学びを深める授業です。本学のディプロマ・ポリシー「いのちを尊び、他者を喜んで支える人間性」および「全人的なヒューマン・ケアに必要な高度な専門性」に該当し、いのちと生き方について尊ぶ基

本姿勢と、全人的なケアに必要な知識についての理解を深めることを目的としています。

本授業は講義、映像資料、演習の組み合わせの初學者向けの内容になっています。後半は、実践現場におられる緩和ケア専従看護師、精神看護専門看護師（リエゾンナース）の方々にゲストスピーカーにお招きして、終末期における患者家族、そして医療従事者等スタッフへのケアの実践についてお話を伺います。

人の悲しみ、悼み、精神的な痛みに寄り添うとき、私たちは自分自身の経験、価値観、感情に向き合うことが求められ、それは時に苦痛を伴います。こうしたことが支援者のバーンアウトにつながることも指摘されているため、人の悲しみ、痛みに寄り添うためには支援者自身の自己覚知やセルフケアが大変重要になります。

本授業「ターミナルケアとグリーフワー

ク」はこのテーマに関わる自分自身の体験や価値観を振り返りながら死生観（生きることと死ぬことの価値観や考え方）を確立し、他者の悲しみ、痛みに寄り添うための準備教育として位置づけることができると思います。

深く、重いテーマですが、授業内では受講者の方々の心の安全に最大限注意を払い、楽しめる要素も取り入れながら進めております。



Profile

大曲 睦恵 准教授

専門分野 子ども、グリーフサポート、メンタルヘルス

趣味・関心事 読書(推理もの)、ボランティア活動

Classroom 授業探訪

歴史神学Ⅳ (近・現代)



歴史神学を学ぶとき、ルターと16世紀の宗教改革に焦点を当てがちです。しかし、ルターの神学を理解するためには、初期や中世の教義に関する知識が必要なの言うまでもありません。当然ながら、ルター以降の時代の知識はさらに重要です。この500年の間に、物質的、精神的な背景を変えるようなことが多く起こりましたが、私たちはしばしば、この遺産が私たち

の思想や教会に何をもたらしているのかに必ずしも気づいてはいません。「近代」という言葉を定義するのは難しいのですが、科学、政治、産業、哲学など、世界を変える「革命」と同義です。神学においては、シュライエルマッハーの「神意識」におけるキリストの神性の位置づけが、おそらくその典型的な表現でしょう。ポストモダンの神学は現在、このような考察を、不在の土台を求める虚しい探求としています。しかし、キリスト教徒は常に、手近な知的ツールを使って自分たちの信仰を理解しようとしてきました。このコースでは、このような物質的、知的変化と、それに対するキリスト者の応答を探究するのです。福音主義の誕生と宣教運動とともに、宗教的暴力と啓蒙主義について学んでいます。ディドロの百科事典とジョナサン・エドワーズとの関係、科学的方法と根本主義、ライブ

ニッツからカント、バルト、そしてマルティン・ルーサー・キング・ジュニア、絶え間ない創造、神の正義のタペストリー、また、千年王国主義、ペンテコステ主義、エキュメニズムなど、今日のキリスト教の最も一般的な課題にも踏み込んでいます。キリスト教自体が真剣に受け止められていない世界で信仰を表現することの意味について考察しています。



Profile

アンドリュー・ウィルソン 専任講師

専門分野 キリスト教の歴史

趣味・関心事 ハイキング、ランニング、家具作りなど

告示

神学校校長交代について

このたび、立山忠浩校長が2024年10月4日をもって退任し、後任として宮本新准教授が、新校長に就任いたしました。

立山前校長のご挨拶および宮本新校長の所信表明は次号での掲載を予定しています。

日本ルーテル神学校入試情報

出願期間

2025年1月8日(水)～1月15日(水)

試験日

2025年2月3日(月)

詳細はホームページよりご確認ください。



オープンセミナリー報告

チャプレン 李明生

神学校とJELC・NRK各神学教育委員会の共催として6回目となる神学校オープンセミナリーは「教会に仕える」を主題として10月20日(日)15時から21日(月)昼まで日本ルーテル神学校を会場に対面と一部オンラインのハイブリッド形式で行われました。

今回はJELCより4名(うち1名はオンラインによる部分参加)、NRKより1名(1日目のみ)を迎え、神学校在校生、両教会神学教育委員、神学校教員が参加しました。初日は松岡俊一郎JELC神学教育委員長による開会礼拝、山内恵美さん(JELC神学教育委員)の講演の後、参加者と神学生での夕食と懇談の時間が持たれました。2日目は立山忠浩牧師による模擬講義そして桑井豊NRK神学教育委員による閉会礼拝をもって終了となりました。

このプログラムを通して参加者一人一人がキリスト者としての自らの召命に向き合う機会として用いられるよう憶えてお祈りください。